

生涯  
学習課

## 地域の魅力紹介のガイドを育成

ガイド養成講座



比婆山神社の前で行われた講座の様子

庄原市教育委員会では、市民や観光客に地域の魅力を紹介してもらう文化財ガイドの養成講座を実施しており、本年度で7期目となります。庄原市観光協会の「庄原やまなみガイド養成講座」と共同で開催した今回の講座では、比婆いざなみ街道沿線にあり、熊野神社と同じく比婆山御陵の遙拝所である比婆山神社との関連文化財群にスポットを当てました。

書籍「日本誕生の女神」の執筆者でもある清水正弘さん（健康ツーリズム研究所代表）と川島美美子さん（風土記を尋ねる会代表）を講師に迎え、歩き方や話し方などのガイドを講師に迎え、歩き方や話し方などのガイドのコツ、奥深い比婆山信仰や古事記の世界について、実際に現地を歩きながら学びました。

最後となる第4回目の講座は9月24日に開催し、杉神社（高野町）や比婆山神社（比和町）などを巡りながら、観光協会の熊本洋道さんの指導の下で受講生が実際にガイドに挑戦しました。

本年度の講座では5人がガイドとして登録され、さまざまな方面で今後の活躍が期待されます。

地域包括  
支援課

## 住み慣れた地域で自分らしく暮らしていくために 庄原市における地域包括ケアシステムの構築・充実に向けた提言書提出



市長に提言書を手渡す推進会議の毛利昭生会長

東城支所

## 遊歩道の復旧と神龍湖の環境保全に取り組む 「帝釈峡いちばん愛する会」を設立



設立委員会の様子

9月5日、庄原市地域ケア推進会議から「庄原市における地域包括ケアシステムの構築・充実に向けた提言書」が木山耕三市長に提出されました。

庄原市地域ケア推進会議は、地域・医療・介護の関係機関・関係団体などで構成する会議で、地域包括ケアシステムの構築・充実に向けた協議を行っています。

この提言は、「地域での見守り合いの仕組みづくり」「認知症の人を支えるネットワークづくり」など9項目で、高齢者が在宅で生活するために「優先的に取り組む課題」の解決に向け、関係機関・関係団体と市が連携して進める取り組みについてまとめられています。

市では、この提言を現在策定中の第7期高齢者福祉計画・介護保険事業計画に反映させ、高齢者が健康で生きがいを感じながら安心して生活することができるまちづくりに取り組んでいきます。

9月14日、県内有数の観光地である国定公園帝釈峡の充実を目指し、庄原市や神石高原町、東城町商工会や帝釈峡観光協会、帝釈観光振興協議会などの関係10団体が連携した「帝釈峡いちばん愛する会」を組織し、その設立委員会を市役所で開催しました。

「愛する会」の会長には帝釈峡観光協会の谷壯一郎さんが選任され、委員からは、「現在の遊歩道の迂回路は、急峻な山道で景観も悪く一般観光客から苦情を受けている」「通行止めとなっている区間の早期復旧を」「具体的な事業計画を示すことでも重要では」などの意見も出され、活動方針を「遊歩道の全面開通」と「神龍湖の環境保全・水質改善」に絞り、取り組みを進めることとなりました。

また年内にも、遊歩道や神龍湖の管理者である広島県や中国電力株式会社に、働きかけを行うことを確認しました。

